平成 18 年 5 月 18 日

各　位

会 社 名：住 江 織 物 株 式 会 社
代表者名：取締役社長　　吉川 一三
(ｺｰﾄﾞ番号：3501 東証・大証 各一部)
問合せ先：取締役経営企画室部長
山形 憲一
(TEL. 06 － 6251 － 6803)

中期経営３カ年計画“ACTION-2008”策定のお知らせ

(2007 年５月期～2009 年５月期)

１．はじめに

住江織物は、２００３年５月に、取巻く諸環境を踏まえ「事業基盤の再構築」と「海外事業の拡大」を柱とする中期経営計画を策定、旧体質からの脱皮、社内諸制度の改革、あらたな海外事業拠点の構築等、経営資源の選択と集中を図り、積極的に推進をしてきました。これら一連の住江織物グループ全社をあげての取組は、最終年度となる２００６年５月期に、着実に成果として現出しつつあります。

その間、社会、経済、政治はもとよりＢＲＩＣｓ等、地域市場においては想像以上のスピードで変化がおき、国内市場では成熟化による需要の頭打ち、そして、よりグローバルに地球規模での競争激化が現出しています。又、昨年来の石油高騰による諸原材料の値上げは直接的に事業収支に影響を及ぼし、現時点でも懸念材料として大きく影を落としています。こうした外部環境の変化に対応させ、住江織物グループが持続的な成長を果たしていくためには、実施してきました中期経営計画の改革路線を引継ぎ、より一層、経営基盤を堅実に、強固にしていくことが重要であると認識し、２００９年５月期を最終年度とする第二次中期経営計画“**ACTION-2008**”を策定、２００６年度より実行に移していくことになりました。

２．中期経営計画“ACTION-2008”の概要

（１）“ACTION-2008”の基本とする方針

中期経営計画“**ACTION-2008**”では、外部環境の変化に対応できる**「事業体質の強化」**と**「収益基盤の拡充」**を最大テーマに、製造・開発・営業・管理、あらゆる場面での**“人財力”**を高め**「現場力の向上」**の推進と**「財務体質の健全化」**を継続的に注力していくことにより、住江織物グループの持続的成長を可能とする企業体質の実現に向け、着実な進化を目指します。

１）事業体質の強化

成熟した国内市場は、付加価値商品の企画・開発力の強化と安全・安心な生活空間を追及する環境技術をより高め、**顧客満足に即座に対応できる体制**を、海外市場は、地球規模での自動車内装資材需要に対応し、世界最適供給を可能とする**グローバル生産体制**を拡充させ、住江織物グループの事業体質を「質」と「量」との両面からバランスよく、堅実に強化します。

① 住江織物グループは、**Ｋ（健康）・Ｋ（環境）・Ｒ（リサイクル）**をキーワードにした環境技術、消臭加工技術（**トリプルフレッシュ**）をさらに高め、差別化された高付加価値商品の開発を積極的に推進、事業活動の高度化を図ります。
② 培ってきた専門性の高い提案型営業力を全事業領域に展開、顧客需要に機敏に対応し、潜在需要の発掘、事業機会を成果へと結実させ、事業価値を高めていきます。

③　自動車内装資材の海外戦略は、住江織物の技術力を幅広く活かし、世界最適供給を可能とするグローバル体制をより着実に進化させ、事業の躍進を図ります。
④　“ACTION-2008”の最終年度２００９年５月期には、住江織物の２大事業分野、「インテリア内装資材」と「自動車・鉄道車両内装資材」の売上高構成比率を５０％：５０％に、連結売上高に占める海外売上高は１０％以上に高め、事業体質をより強固にします。

２）事業収益力の向上

住江織物グループは、競争力強化のために製造設備基盤の整備、蓄積した“**技**”の次世代への継承と“**人材力の強化**”、そして無駄なく効率良くつくり込む**「現場力の向上」**を推進し、収益力と組織力の最大化を図ります。

① 昨年より実施しています“生産リードタイム短縮活動”を、諸原材料の環境変化を契機に、継続して、“生産効率向上活動”として主要工場に展開、生産性が高くより効率的な製造工場の構築を目指します。
② 世界的な自動車関連需要に対応した海外戦略は、“ACTION-2008”期間内に収益化を果たし、事業規模の拡充に向けて重点設備投資を計画的に推進、海外事業の競争力、収益力の向上を着実に図ります。
③ 商品・技術・研究開発及び品質、コスト、納期、そして環境への対応など、住江織物のグループ力を強化していくため、経営資源を積極的に投入、お客様から高い信頼が得られる品質の提供、付加価値の高い事業、商品への展開を迅速に推進し、収益力を高めます。
④ “投資対効果”、“経費対効果”の検証、効率的な営業活動の徹底を業務プロセスに定着させ、販管費を中心とした固定費用の削減を更に推し進め、目指す営業利益率３％を２００８年５月期に、最終年度２００９年５月期には３．５％以上の実現を“ACTION-2008”では目指します。

３）健全な財務体質を確立

競争力、収益力を高め、持続的成長を果たしていくため、必要な投資は積極的に実行していく一方で、財務体質の改善にも継続的に注力し、外部環境の変化に対応していける財務基盤の構築を図ります。

① 持続的成長に向けた機動的投資にも対応が可能な財務体質の構築を狙いとして、株主資本比率は３５％以上を実現し、着実に体質強化を図っていきます。
② 金利上昇による収益圧迫を軽減させていくため、有利子負債を２００６年５月期予想額から３カ年で２０億円の圧縮を目指します。
③ 配当については、安定配当を継続していくことを重要使命とし、業績に応じた利益配分を基本とします。

４）マネジメント体制の基盤強化

住江織物グループ全体の社会的責任（ＣＳＲ）を果たすことのできる体制を整備し、社会から信頼を得られるよう努めてまいります。又、部門、連結子会社の枠を越え、業務プロセスの革新を図り、内部統制の強化に向け、マネジメント体制の確立を推進していきます。

（２） 中期経営計画の取組課題

“ACTION-2008”の基本方針のもと、住江織物グループは次の項目を重点課題として、取組みます。

1）効率的な事業活動、造り込みを可能とする現場力の向上
2）高付加価値商品の開発に蓄積された素材の熟知力と技術力を結集
3）グローバル戦略の拡充、事業価値の強化に向け経営資源を積極的に投入
4）資産・資本効率を高め、財務体質の健全化を推進
5）情報インフラを整備し、事業活動の“見える化”と業務効率の向上
6）次世代への“技”の継承と「人材」を世界で活躍できる「人財」に育成
7）企業の社会的責任、信頼される事業活動を果たす「内部統制」の体制構築

（３） 業績目標

第二次中期経営計画“ACTION-2008”の連結業績目標

① 連結売上高は、前期比２％以上の成長を持続し、’09年５月期８００億円を目指す
② 海外売上高は、連結売上高の１０％以上（持分法適用会社含めて１５％以上）を最終年度目標とする
③ 営業利益率は着実に改善し、３．５％以上に高める
④ 経常利益額は、’06年５月期比、１．７倍の３５億円を目標とする
⑤ ＲＯＡ４％以上、ＲＯＥ６％以上、株主資本比率は３５％以上を目指す
⑥ 有利子負債は、’06年５月期比、２０億円を圧縮

	第二次中期経営計画“ACTION-2008”			
（単位：億円）	‘06年５月期	‘07年５月期	‘08年５月期	‘09年５月期
売上高	７４５	７５３	７８５	８００
営業利益	１７	１９	２４	３０
経常利益	２０	２４	２８	３５
当期純利益	１９	３０	１５	２０
営業利益率（%）	２．３%	２．５%	３．０%	３．７%
ＲＯＥ（%）	８．０%	１１．６%	５．４%	６．８%
ＲＯＡ（%）	２．７%	３．２%	３．６%	４．４%
株主資本比率（%）	３２．８%	３５．６%	３６．２%	３７．５%
有利子負債残高	１７０	１５５	１５２	１５０
海外売上高比率	４%	６%	９%	１０%

（単位：億）

注－１）‘０６年５月期は見通しです
注－２）住江織物グループの連結業績推移、“ACTION-2008”中期経営計画を踏まえ、‘０７年５月期に税務上の繰越欠損金解消を見込み、繰延税金資産全額回収を盛り込んだ計画にしております。

（４） 投資計画

“ACTION-2008”では、最終年度２００９年５月期までの３年間で総額４０億円の投資を実施する予定です。

“ACTION-2008”３カ年総投資額 ４０億円	海外投資	国内投資	情報投資
	３０%	６０%	１０%

① 自動車内装資材事業を主体とする海外事業に総額の３０%を振り向け、製造供給拡大期となる北米拠点、製造立上期となる中国拠点、躍進著しいタイ・インドネシア拠点への生産設備の拡充を適時図り、海外の自動車内装材需要への供給体制をより強化します。

② 国内投資は、３年間の投資総額の６０%を割き、住江織物のオリジナリティ性が発揮できる高付加価値商品の拡充を図るため、独自技術の環境対応型ポリエステル糸「**スミトロン**」製造設備を増設、原糸から最終製品までの企画開発力と供給能力を高めます。併せて、環境商材加工設備、リサイクル対応設備、これらに関連する研究開発・試験設備、そして、生産効率向上に向けた製造設備の改廃を積極的に実行し、“ACTION-2008”主要テーマである「企業体質の強化」を積極的に推進します。

③ 投資総額の１０%は、情報インフラ整備に振り向け、事業進捗の“見える化”による効率的な業務推進、さらには内部統制視点からの業務プロセス整備を実施していきます。

【参考資料】　“ACTION-2008”市場別の業績目標

	‘06 年 5 月期見通し		‘09 年 5 月期目標	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
自動車・鉄道車両関連	３４０	１９	３８０	２８
インテリア関連	３６５	９	３８５	１２
その他	４０	△８	３５	△５
合計	７４５	２０	８００	３５

（単位：億円）

本資料で記載されている業績見通し、将来予測及び事業計画についての記述は、現時点における将来環境予測の仮定に基づいています。本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。